

2017年度

みんなの 防災

in そなエリア東京

実施報告書

2018年1月25日

みんなの防災プロジェクト実行委員会

イベント名称≫ みんなの防災＋(プラス)ソナエ in そなエリア東京

日 時≫ 2017年9月10日(日)10時～16時

場 所≫ 東京臨海広域防災公園『そなエリア東京』(東京都江東区有明三丁目8番35号)

参 加 料≫ 無料

主 催≫ みんなの防災プロジェクト実行委員会

共 催≫ 東京臨海広域防災公園内『そなエリア東京』(東京都江東区有明三丁目8番35号)



後 援≫ 内閣府政策統括官(防災担当)、日本赤十字社、一般財団法人防災教育推進協会、一般社団法人防災教育普及協会

協 賛≫ 一般社団法人日本損害保険協会、一般社団法人外国損害保険協会、一般社団法人Tokyo Good Manners Project、楽天株式会社

協 力≫ 一般社団法人危機管理教育研究所、特定非営利活動法人プラスアーツ、青山学院大学 地球社会共生学部、国士舘大学 防災・救急救助総合研究所、フジテレビKIDS

特別協力≫ イオンモール株式会社、＋ソナエ・プロジェクト

実施内容≫ ①『みんなの防災＋ソナエ』全国イベント開催 記者発表会

2017年度のイベント実施の発表会。

本実行委員会の活動紹介、及びイベント紹介、防災ナビゲーターと特別ゲストによるトークショーを開催。報道各局を招いた、PR活動とする。

②『みんなの防災＋ソナエ in そなエリア東京』を実施。

体験プログラム3種、展示1種、ステージの構成にて実施。

- ・地震ザブトン体験(一般社団法人日本損害保険協会、一般社団法人外国損害保険協会)
- ・災害ドローン体験(青山学院大学 地域共生学部)
- ・救急救命体験(国士舘大学 防災・救急救助総合研究所)
- ・防災マナーに関する展示(一般社団法人Tokyo Good Manners Project)
- ・ステージ 5プログラム開催

1階

2階

東京直下
72h
TOUR

救急救命体験ブース
【国士舘大学】

地震ザブトン体験ブース
【日本損害保険協会
外国損害保険協会】

記者発表会場
(オペレーションルーム: 内閣府所管)

ドローン体験ブース
【青山学院大学】

Tokyo Good Manners Project
防災マナー

屋外ステージ

正面入口

通用口

「みんなの防災＋ソナエ 2017」

①イベント記者発表会



そなエリア東京

防災体験学習施設

【開催期間】

9月10日(日)11:00～12:00

【後 援】

内閣府政策統括官(防災担当)、日本赤十字社、
一般財団法人防災教育推進協会、

【協 力】

一般社団法人危機管理教育研究所、
特定非営利活動法人プラスアーツ、
青山学院大学 地球社会共生学部、
国土館大学 防災・救急救助総合研究所、フジテレビKIDS

time	RAP	構成	登壇者
0:00	05'	開会の挨拶	MC 国崎信江様、丸山浩司様
0:05	05'	団体・企業紹介 防災ナビゲーター・ゲスト紹介	MC、国崎信江様 森田正光様、木原実様、鈴江奈々様 くまモン様
0:10	10'	防災ナビゲーター 意気込みとメッセージ	
0:20	05'	日本損害保険協会 スペシャルインタビュー	MC 地震保険広報キャラクター 高良健吾
0:25	10'	フォトセッション ① 1ショット（高良健吾）② 2ショット（高良健吾、くまモン） ③ 6ショット（高良、くまモン、国崎、森田、木原、鈴江）	MC 高良様、くまモン様、国崎様 森田様、木原様、鈴江様
0:35	—	終了	

『みんなの防災+ソナエ』イベント記者発表会 記録①

日本損害保険協会のCMキャラクターとしてご出演の「高良健吾さん」と熊本地震からの復興を願い精力的に活動する“くまモン”に参加いただき、記者発表を実施。

また、気象予報士を中心に結成された「防災ナビゲーター」のみなさんも参加し、効果のあるプロモーション訴求を展開。



- 左から、
- ◎ 日本テレビアナウンサー “鈴江奈々さん”
 - ◎ 気象予報士 “木原 実さん”
 - ◎ 熊本県キャラクター “くまモン”
 - ◎ 俳優 “高良健吾さん”
 - ◎ 気象予報士 “森田正光さん”
 - ◎ 危機管理アドバイザー “国崎信江さん”



高良健吾さん：熊本地震の際のボランティア体験を交えながら、思いを語っていただきました。



高良健吾さんと大人気の熊本県キャラクターくまモンとの2ショット！



民間事業の記者発表で使用されるのは「初」になった
内閣府所管『オペレーションルーム』
大画面モニターには「みんなの防災+ソナエ」のロゴを表示。



多くの記者の方にお越しいただき、「防災」に対する
感度の高さがうかがえました。



気象予報士、また防災士として執筆なども行う森田正光 氏



アナウンサーとして、防災士として、そして母として、
「東日本大震災」「熊本地震」を伝える鈴江奈々氏



気象予報士、また防災士として防災グッズ監修も行う 木原実氏

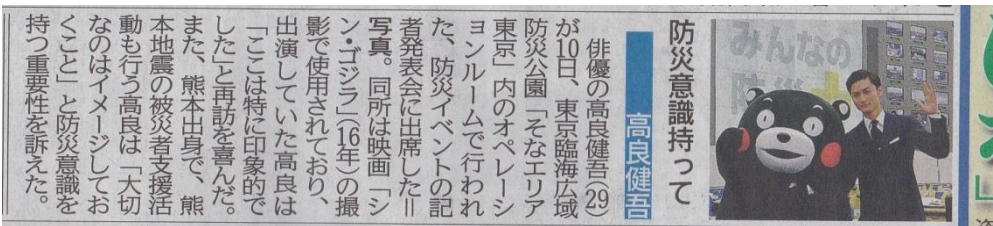


町の防災から国の防災まで幅広い視点で防災を考え、
伝え続けている国崎信江氏



熊本地震後、復興へ進む熊本をアピールするため、
更なる復興のため、全国を回るくまモン

■デイリースポーツ(2017.09.11掲載)



防災意識持つて

高良健吾

俳優の高良健吾(29)が10日、東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」内のオペレーションルームで行われた、防災イベントの記者発表会に出席した。写真。同所は映画「シン・ゴジラ」(16年)の撮影で使用されており、出演していた高良は「ここは特に印象的でした」と再訪を喜んだ。また、熊本出身で、熊本地震の被災者支援活動も行つた高良は「大切なのはイメージしておくこと」と防災意識を持つ重要性を訴えた。

■スポーツ報知(2017.09.11掲載)



防災対策訴え

高良健吾

俳優の高良健吾(29)が10日、東京・有明の東京臨海広域防災公園「そなエリア」のオペレーションルームで防災イベント「みんなの防災+ソナエ」の発表会見に出席した。

オペレーションルームは通常非公開となっており、今回のため特別に公開。高良は「(映画の)『シン・ゴジラ』の撮影で借りし、懐かしい印象です」としみじみ。熊本出身で、昨年4月の熊本地震の際には自ら被災地に赴きボランティアを行った経験振り返り「相手は地球、何が起るかわからないからこそ、できることは『備え』と」防災対策の必要性を訴えた。

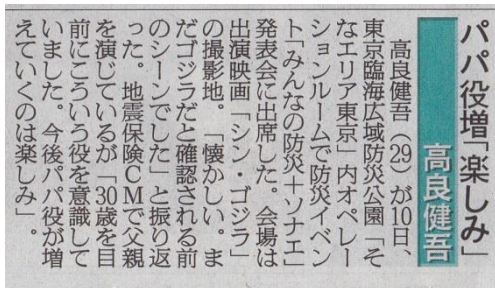
★中村静香 都内で「ナカムラシズカVR」発売記念イベントを行った。

★平崎美子 メジャーデビューシングル「サクラ」卒業できなかった君へ」の発売イベントを行った。

★りゅうちぇる(べ) 結婚式を挙げたことをそれぞれのツイッターで報告。

レイアウト 福編 裕次

■日刊スポーツ(2017.09.11掲載)



パパ役増「楽しみ」

高良健吾

高良健吾(29)が10日、東京臨海広域防災公園「そなエリア東京」内オペレーションルームで防災イベント「みんなの防災+ソナエ」の発表会に出席した。会場は撮影地。「懐かしい。まだゴジラだと確認される前のシーンでした」と振り返った。地震保険CMで父親を演じているが「30歳を目前にこういう役を意識していました。今後パパ役が増えていくのは楽しみです」。

■東京中日スポーツ(2017.09.11掲載)



同郷くまモン出現!!

俳優高良健吾(29)が10日、東京

都内で体験型防災イベント「みんなの防災+ソナエ」発表会に出席。自身が出演した映画「シン・ゴジラ」(2016年)の撮影で「ゴジラ対策本部」として使用した同所で、自然災害への備えを訴えた。発表会は、普段は非公開で「本物の緊急災害現地対策本部オペレーションルーム」で行われた。映画では、ゴジラ対策に当たる内閣官房副長官秘書官を務めた高良は、久しぶりに同所を訪れ感慨深げ。主演の長谷川博己(40)との撮影を

「ゴジラ対策本部」に帰還

高良 自然災害への備え訴え

3日に始まった同イベントは、東京・イオンモール日の出(10月29日)や愛知・イオンモール常滑(11月5日)などを経て、12月10日まで全国14会場で行われる。

「みんなの防災+ソナエ」発表会で、地震への備えを訴えた高良健吾とくまモン

出川 胆管炎で入院「アッコさん思うと痛

お笑いタレント出川哲朗(53)＝写真＝が10日に自身のブログで、6日夜から胆管炎で入院していることを明かした。出川はブログで「とにかくめちゃめちゃ痛い」と苦しんでいる様子を明かした。「たくさんの番組に穴を開けてしまっ

ツプはもちろん、出演人にも迷惑を掛けてしに申し訳ない」と謝罪。「クマやライオンと戦俺が胆管炎なんかに負にはいかない。早く治し

レイアウト 輝彦

● 高良健吾、地元・熊本地震の経験踏まえ「知っておく備え」の重要性を力説

2017年9月10日 13:30

ツイート 18

いいね! 4

Pocket 2

【映画.com ニュース】俳優の**高良健吾**が9月10日、東京・有明のそなエリア東京で行われた防災イベント「みんなの防災+ソナエ」の記者発表に出席した。

イスに座って地震の震度を体感したり、災害時のドローン操縦体験などができるイベントで、9月9日～12月10日の間に全国14会場で開催。この日の会見が行われた同施設内のオペレーションルームは、映画「**シン・ゴジラ**」で政府の対策本部として撮影に使用された場所で、出演した高良は「ちょうど**長谷川博己**さんと入ってきて、ここからハケていきました。いろいろな場所でロケをしましたが、その中でも特に印象に残っていますね」と懐かしそうに語った。



高良健吾とくまモン
【拡大画像】

昨年4月に地元の熊本で大地震が起き、自身もボランティアとして何度も現地入り。校庭に「のみ水ください」というメッセージを書いた熊本市内の中学校は母校でもあり、「市内でも大人が1日500ミリのペットボトル1本という状態だった。地元に残っている仲間や、こっちに出てきている友達と連絡を取り合い自分たちのついでにいくらでも運ぶことができた」と振り返った。

当時の様子については、「どの避難所でも、配る時に並ぶと必ずお年寄りや子どもたちを優先する。パワーをもらったのは、大変な状況なのにユーモアを忘れない人が必ずいて、周りをほぐしていく景色。大切なことだと思った」と明かした。

現在は、地震保険応援キャラクターとしても活動し「地震保険」のCMにも出演中。「いろいろな装備や使い方も学んでいますが、大切なのはイメージトレーニングだと思う。そういう状況に陥った時、どう行動するかをイメージしておけば、一瞬落ち着けるし最初の一步が速くなる。熊本でも100何年前に大きな地震があったけれど、僕らは知らなかった。地球、自然が相手だから受け入れなきゃいけないところもあるし、知っておく備えは必要だと思う」と訴えていた。

なお、イベントには気象予報士の**森田正光**、**木原実**、**鈴江奈々**の各氏とくまモンも出席した。

（映画.com速報）

ニューストップ > 芸能 > 芸能総合

高良健吾

森田正光

鈴江奈々

くまモン

防災対策

高良健吾、防災意識の向上「大切なのは、イメージトレーニング」

f 0

Twitter

2017年9月10日 16時13分

livedoor

俳優の**高良健吾**が10日、東京・有明の「そなエリア東京」で行われた防災イベント、「みんなの防災+ソナエ」記者発表会に出席した。



写真拡大（全6枚）

高良は昨年、故郷で起こった熊本地震に駆け付け、被災地支援に参加。避難所を回ると「市街地でも水が足りない状況がありました。500mlのペットボトルを、大人3人で、1日1本という割り当て。みんなで水を運ぶ手段を尽くしていました」と当時を振り返った。

「水をお配りするとき、どの避難所もそうだったのですが、お子さんやお年寄りの方を優先されている列がありました。僕がパワーをもらったのが、あんな大変な状況の中、ユーモアを忘れない人たちがいて、その場所をほぐしていく瞬間がありました。明るく振る舞うこと、わざとかもしれません。でも、それが大切なこと、思えたりもしました」

また、高良は現在、地震保険の広報キャラクターに任命されて活動中。

防災知識、心の備えを訊かれて「僕個人としては、いろんな防災グッズを準備をしていて、使い方も学んでいます。そこから色々用意していて思うことがあります。大切なのは、イメージトレーニングだと思います。自分がそういう状況に陥ったときにどういう行動をするかどうか…本当はイメージしたくないかもしれませんが、でも、ほんの少しでもイメージしておく、最初の一步が違うと思うようになりました」と自身における考え方を紹介していた。

のべ10万人の参加目標を立てて始まった防災イベント「みんなの防災+ソナエ」は、9月3日から12月10日にかけて開催中で、全国12地区14会場で実施されることが決定。

トップ > エンタメ > 高良健吾 被災地の方からパワーをもらった



高良健吾 被災地の方からパワーをもらった

ツイートする

シェアする

2017年9月10日 18:46



全文

熊本県出身で俳優の高良健吾が10日、東京・有明で行われた「みんなの防災+ソナエ」記者発表会に登場した。

「みんなの防災+ソナエ」は、防災について分かりやすく・楽しく体験しながら学ぶことができる国内最大級のイベント。熊本地震が発生した際、支援活動を行っていた高良は「大切なのは“イメージ”なのかなと思う。軽くでもいいからイメージしておくと、多分（災害発生時の）一歩が違うのかなと思う」と事前に“ソナエ”大切さを語った。

熊本地震から約1年半。当時を振り返り「地元の仲間と、何が足りなくて何が必要なのかというのを常に連絡を取り合って聞いていた。（熊本）市内の方では水が足りないということで、とにかくみんなで集まって、ツテで色んな避難所に行って水を運んだ」と真剣な表情を浮かべた。

また、被災地で気づいたことについては「どの避難所でも水を配るときに、必ずお年寄りと子供たちを優先的にみんなが並ばせていた。あと僕が一番パワーをもらったのは、大変な状況なのに“ユーモアを忘れない人たちが”何人かいて、その人たちが必ずその場所で“ユーモア”によって何かをほぐしていく瞬間がたくさんあった。そういうのが大切なことだと思ったしユーモアのパワーを感じた」とまっすぐな瞳で語った。

ホーム > 芸能 > 高良健吾、熊本地震から1年半…再び防災への訴え「大切なのはイメージトレーニング」

2017-09-10 13:29

高良健吾、熊本地震から1年半…再び防災への訴え
「大切なのはイメージトレーニング」

高良健吾 くまモン 俳優 ゆるキャラ

俳優の高良健吾が10日、東京・有明にある東京臨海広域防災公園「そなエリア」内オペレーションルームで国内最大級の体験型防災イベント『みんなの防災+ソナエ』の記者発表会に参加。高良の故郷・熊本では昨年4月に熊本地震が発生してから約1年半が経過したが「大切なのはイメージトレーニング」とあらためて防災を呼びかけた。

【写真】その他の写真を見る

地震発生直後に高良は熊本に急行。給水などのボランティアを仲間と共にいった。「どの避難所でも水を配る時に並ぶと必ずお年寄り子どもたちを優先的に並ばせていた」姿に感動を覚えた。さらに「大変な状況でもユーモアを忘れない人がある。その人たちが必ず、その場所で何かをほぐしている。ユーモアのパワーを感じました」と振り返った。

現地に入った高良だからこそ分かる災害への備えを問われると「いろんな装備は用意している」と明かしつつも「大切なのはイメージトレーニング」と語った。「自分がそういう状況に陥ったとき、どう行動するのかを軽くでもイメージすると違う。そうになったら一瞬、落ち着けるし、1歩目が早くなると思う」と心の準備の大切さを説いた。

高良は地震保険加入を呼びかけるCMに出演している。“家族”がテーマでCMでは初めてのパパ役で出演している。「個人的に30歳になる。30歳になるのを、すごく意識してきたし備えてきた。自分にも、こういう役が増えていくんだという気がする。楽しみしかありません」とにっこりだった。

また、この日、記者発表会が行われたオペレーションルームは昨年、大ヒットした映画『シン・ゴジラ』の対策本部として使用された場所でもある。映画の撮影やこの日は内閣府の許可が特別に出たため、入室が許された。同作に出演している高良は「『シン・ゴジラ』の撮影のときにお借りしました。いろんな場所でロケをしたんですけど、特に印象に残っている。懐かしいですね」としみじみ。「まだゴジラとは決まっていけない時で、あの物体は何だかってシーンで楽しかったです」と笑顔を見せた。

森田正光、木原実、鈴江奈々、くまモンも参加した。森田は祇園祭が約1000年前の城南地震を風化させないために行われたことが起源であることを明かし「楽しまないと次世代に残っていかない。防災を堅苦しくではなく、面白く伝えているといいなと思う」と呼びかけた。



④ 拡大写真

熊本県出身の俳優・高良健吾がくまモンと一緒に防災への意識向上と協力を呼びかけた。(C) ORICON News S inc.



④ 拡大写真

(左から) 鈴江奈々、木原実、くまモン、高良健吾、森田正光、国連防災危機管理教育研究所代表 (C) ORICON News S inc.



④ 拡大写真

映画『シン・ゴジラ』の対策本部としても使用された緊急災害現地対策本部オペレーションルーム（音階は非公認）(C) ORICON News S inc.

[ホーム](#)
[モーメント](#)

[アカウントをお持ちの場合 ログイン](#)

[ツイート 47,064](#)
[フォロー 112,964](#)
[フォロー中 747,710](#)
[フォローする](#)

くまモン【公式】 [@55_kumamon](#)

くまもとサプライズくまモン隊、隊長のくまモンだモン！熊本県富岡市長兼しあわせ市長も務めるモン！熊本の人には熊本の魅力をもっと見つめなおしてもらい、県外の人には熊本のうまかモンやよかところを知ってもらうために、隊員のお姉さんやお兄さんと一緒に、色んなところに出動してるモン！みんな会いに来てほしいモン☆

[kumamon-official.jp](#)

[ツイート](#)
[ツイートと返信](#)
[メディア](#)

13
 434
 2,177

くまモン【公式】 [@55_kumamon](#) · 9月10日

ステージでは防災についていろいろ紹介したモン！みんなはこれを知ってるかモン？ダンゴムシのポーズ☆緊急のときに大事なポーズだモン！...みんなは頭をしっかりかくすモン！

40
 503
 2,277

くまモン【公式】 [@55_kumamon](#) · 9月10日

今日は「みんなの防災+ソナエ」に行ってきたモン☆いろいろな防災学習コーナーがあって勉強になるモン！

22
 374
 2,042

「みんなの防災＋ソナエ 2017」

②イベント



そなエリア東京

防災体験学習施設

- | | |
|--------|--|
| 【開催期間】 | 9月10日(日)10:00～16:00 |
| 【後援】 | 内閣府政策統括官(防災担当)、日本赤十字社、
一般財団法人防災教育推進協会、 |
| 【協力】 | 一般社団法人危機管理教育研究所、
特定非営利活動法人プラスアーツ、
青山学院大学 地球社会共生学部、
国土舘大学 防災・救急救助総合研究所、フジテレビKIDS |

記者発表会と同時に実施され、マスコミの皆さんにもご覧いただくことができました。そなエリアのステージのみで行われたスペシャルプログラムには多くのお客様が集まり、立ち見も出るほどに盛況でした。また、そなエリア主催の「防災モーターショー」と併催するで相乗効果が生まれ、施設様との今後の連携・展開にもつながるイベントとなりました。

■ステージコンテンツ

防災ナビゲーターと『楽しみながら、防災を学ぶ』プログラムを展開。

時間	尺	タイトル	登壇者
13:00	15～20分	フレフレくまもと！「くまモンと学ぶ家族で防災」	くまモン／国崎信江／鈴江奈々
13:40	15～20分	TBS 森田気象予報士 と日本テレビ 木原気象予報士の 「天気予報でソナエマSHOW」	森田正光／木原実
14:20	15～20分	国士舘大学Presents 「もしもの時の心肺蘇生講座」	喜熨斗智也／国士舘大学生徒
15:00	15～20分	お天気キャスター木原実と防災キャスター鈴江奈々の 「防災every.トークショー」	木原実／鈴江奈々
15:40	15～20分	危機管理アドバイザー国崎信江先生の 「防災クイズにチャレンジ！ 防災BINGO」	国崎信江／木原実 森田正光／鈴江奈々

■ブースコンテンツ

全国を回遊するコンテンツの中から、セレクトした3コンテンツを実施。

	ブース名称／実施団体	内容
1	地震にソナエ！ 大地震を体験してみよう！ 【日本損害保険協会／外国損害保険協会】	地震ザブトンの体験ブース。 過去の大地震の揺れを体験できる「地震ザブトン」を設置。観測データをもとにしたリアルな揺れを再現。揺れを体験することが備えへの意識向上を目指すプログラム。
2	DRONE BIRD 【青山学院大学 クライシスマップーズ・ジャパン】	小型の飛行ドローンを使った災害地区の撮影ミッションと地上走行ドローンで被災地の偵察ミッションを体験できます。 ★ドローンバードについて★ 災害発生時、各地に作られた拠点からドローンを飛ばして被災地を空撮し、被災状況を 把握するための地図を作成するプロジェクト「災害ドローン救援隊」。
3	救急救命体験ブース 【国士舘大学】	AEDの使用方法、心肺蘇生法を体験することができます。 その他、救急救命にて使用する資機材の体験あり。 ※ロープワーク等、エアウェイスコープ ※stat vein(静脈の確認)、自動心臓マッサージ器

■展示コンテンツ

『防災マナー』という新しい視点の内容をパネルにして展示
(Presented by Tokyo GoodManner Project)



フレフレくまもと！「くまモンと学ぶ家族で防災」

「おかあさん」という目線から、語られる内容に多くの「おかあさん」が耳を傾けていました。



TBS 森田気象予報士と日本テレビ 木原気象予報士の「天気予報でソナエマSHOW」

人気気象予報士のおふたりによる気象災害ステージ。近年の気象災害を受け、真剣に聞く姿が多く見受けられました。



お天気キャスター木原実と防災キャスター鈴江奈々の「防災every.トークショー」

クイズ形式で楽しく防災を紹介したり、そらジローの防災バック紹介したりと楽しいステージになりました。



国士舘大学Presents 「もしもの時の心肺蘇生講座」
生徒の皆さんによるデモンストレーション。



国崎信江先生の「防災クイズにチャレンジ！防災BINGO」
BINGOをしながら防災を学ぶことのできるプログラム。



地震にソナエ！大地震を体験してみよう！【日本損害保険協会／外国損害保険協会】
過去の地震の揺れを体験できる「地震ザブトン」を設置。来場者からは「体験できて良かった」という声が多数ありました。



防災マナー【Tokyo GoodManner Project】
災害に備えた防災マナーを6項目展示。多くの方がパンフレットを手にしていました。



DRONE BIRD【青山学院大学クライシスマップーズ・ジャパン】
今回も列ができるほど大人気のドローン体験となりました。



救急救命体験ブース【国士舘大学】
子どもだけではなく、多くの大人のかたも体験されていました。